

統合国際深海掘削計画（IODP）会議報告書

提出年月日： 平成 19年 5月 30日

氏名： 石渡 明

所属（職名）： 東北大学東北アジア研究センター・教授

会議名	SSEP
期間（移動を含む）	平成 20年 5月 19日 ~ 平成 20年 5月 22日
用務地（国・都市）	韓国 釜山
目的	IODP に提出された提案書の評価

会議内容及び報告事項

19日午前は、石渡が議長を務め、開会宣言、会議場などの説明、委員（出席34名）及び参加者（各組織・委員会代表23名+実習学生4名+オーストラリアからのオブザーバー1名）の自己紹介、議程表の承認、前回議事録の承認、議事次第の説明、各委員会（SPC, SSP, EDP, CDEX, USIO, ESO）及び IODP-MI 報告、学生実習プログラム（MS PhD）の説明があった。昼前の最後に追加議題として、次回のホスト国である米国の共同議長（John）から事前に示されていた開催日程が、静岡で開催予定の微古生物学関係の国際学会と重なるため、開催期間と場所を変更する必要があるか否かについて審議し、変更する方向で今回の会期末までに米国の委員の間で調整する方針が了承された。昼は KIODP と KIGAM が主催する韓国料理の昼食会が行われたが、一部の菜食主義の委員からクレームがあった。

19日午後は、まず石渡から2つの分科会に分かれて行う各提案書の評価について、各分科会への割り振り、手順、評価基準、利益相反などに関する説明があり、その後「固体地球」分科会（議長は John、提案書8本）と「環境・生物圏」分科会（議長は Palike、提案書8本）に分かれて評価を行った。今回は提案書の数が少ないため、各提案書に対する watchdog を6人（ただしプレ提案は5人）としたが、一部の watchdog が、自分の専門から遠い分野である、2つの分科会で自分の担当する2つの提案書の審査時間が重複するなどのクレームを寄せ、後者については提案書の審査順序を変更するなどして対応した。

20日は、分科会が午前と午後の前半まで続いたが、午後の後半から再び全体会議を行い（議長は石渡）、分科会の評価について全員で討議した。夕刻に盛大な公式晩餐会があった。

21日は、午前中と午後の前半を全体会議に費やし、16本全ての評価を終えた。結果は外部評価済みのフル提案2本を SPC に上程し、フル提案4本を外部評価に出し、フル提案6本を修正後再度フル提案として提出、プレ提案1本をフル提案として提出、そして残りのプレ提案3本を修正後再度プレ提案として提出とすることとなった。午後の後半は、SPC 議長の Mori 氏と IODP-MI VP-SP の Larsen 氏が(1)IODP の今後の更新プロセスにおける SSEP の可能な役割、(2)提案書の評価過程における SSEP と SPC の情報交換について講演し、議論を行った。夕刻に会場から徒歩10分の韓国料理店でほぼ全員が参加して宴会を行った。

22日は、まず MS PhD の学生4人がこの会議に参加して学習したことについてそれぞれ発表した。そして、次回の会議は SSEP 委員の少なくとも4~5人が参加予定の微古生物関係の国際学会と重ならないように、米国テキサス州（詳細な場所は未定）で11月10日から14日の間に行うことを決定した。また、その次の2009年5月の会議はオランダで行う可能性が高いという話も出た。委員の一人である Vrolijk 氏が情報提供として石油会社における意思決定プロセスと事業計画の採否の判断基準について述べ、IODP の提案書の評価についても費用対効果を考えに入れるべきことを示唆した。最後に今回で SSEP 委員の任期が満了する Christeson (Zierenberg), Eynaud and Konnerup-Madsen (Palike), 富士原 (黒田), Wilson (Schulte?) に対して、それぞれカッコ内の委員が送別と感謝のプレゼンテーションを行い、最後に全員で記念撮影を行った。

備考	会場 : Novotel Ambassador Busan, ホスト:Dr. Dae-Choul Kim 金大詰
<p>事務局又はJ-DESCへのご要望・コメント等</p> <p>次回開催地のホストとの連絡を密にし、複数の委員が参加する国際学会などとなるべく日程が重ならないようにしてほしい。今回は会議の約1週間前に東京で開催された打ち合わせの席上で初めて具体的な日程案が委員に示され、それが大きな国際学会と重なることが判明して、急遽米国の共同議長と連絡をとって日程変更の交渉に入ることとなり、結果的に当初予定していたオレゴン州ポートランドでの開催が不可能になり、会期中にテキサス州での開催を大筋では決めたものの、現時点でも詳細は未定という状態に陥った。2009年の会議はこういうことがないように、今から情報を集め、各方面と連絡をとってほしい。</p>	